

令和5年度 福井県立武生高等学校（全日制）スクールプラン

福井県教育委員会

「一人一人の個性が
輝くふくいの未来
を担う人づくり」

(福井県教育振興基本計画の
基本理念)

教育方針

国家および社会の有為な形成者としての資質の育成と
真理と正義を愛し、調和のとれた人格の完成をめざす

努力目標

- 【1】 学習習慣の確立と学力の向上
- 【2】 自己を知り自己実現を図る進路支援
- 【3】 品格ある自律した人づくり
- 【4】 教育環境の整備と充実
- 【5】 地域に信頼される学校づくり

学校業務改善のための取組

・学校行事や業務の改善と効率化を進めるとともに、部活動の統廃合、カリキュラムのスリム化とそれに伴う下校時間の見直しを実施し、校内LANの活用と会議の効率化を行う。
・部活動休業日等の確実な運用を行う。

人権教育の推進

人権教育年間指導計画に沿って、各教科、特別活動を中心に他者理解、異文化理解等を深め、異年齢間交流等を積極的に進める。

重点目標

1 教育課程・学習指導 教務部

① 授業を中心として生徒の学習意欲の高揚および学習内容の理解と定着を図り、確かな学力を身につけさせる。【1】

② 家庭学習の習慣を確立させ、自ら学ぼうとする態度の育成に努める。家庭学習時間を確保する【1】

2 生徒支援 生活部

① 人権を尊重する意識を高める。【3】

② 規範意識の高い成熟した人間性を育成する。【3】

③ 部活動や学校行事・生徒会行事の充実を図る。【3】

3 進路支援 進路部

① 基礎学力を充実させ、個々の進路希望に応じた確かな学力を養成する。【1】【2】

② 進路意識の高揚を図り、高い志に基づいた進路を実現する。【1】【2】

4 保健管理 保健部

① 心身の健康に関心を持ち、自分で健康管理ができる生徒の育成に努める。【3】

② 美化意識の高揚を図り、主体的に環境美化に取り組む生徒の育成に努める。【4】

5 保護者との連携・防災 庶務部

① PTA・同窓会活動をとおりて教育活動や環境整備を充実させる。【4】【5】

② 防災訓練を通して生徒の防災意識を高める。【4】【5】

③ 奨学金、購買事業をとおりて生徒の学校生活環境の充実を図る【4】

6 図書広報活動 図書広報部

① 読書を通して生徒の興味、関心を広げ、考える力と豊かな心を育てる。【3】

② 生徒の学校生活を記録し、学校の様子を校外に知らせる。【5】

7 SSH・探究学習 SSH・探究科

① 地域の理数教育の中核拠点としての役割を果たす。【5】

② 理科・数学や科学技術、地域の課題等に関する興味関心を高め、社会に貢献できる人材を育成する。【1】【2】【3】

8 心の環境整備 いじめ対策委員会

① 生徒一人ひとりが安心して学校生活を送ることのできる集団を育て、いじめの未然防止に努める。【3】【4】

② 担任・部顧問・教育相談室等、職員間の連携を密にして情報の共有を図り、いじめの早期発見・早期解決に努める。【4】【5】

具体的取組

a 校内の授業研究体制を確立し、教材を工夫したり、ICTを活用したりすることによってわかりやすい授業による学習内容の定着を図る。
目標【生徒がわかりやすい授業が展開されていると感じている：生徒80%以上】

b 学力向上チームを中心に、生徒の主体性を育み、思考力・表現力の向上をめざす授業改善を図る。
目標【思考力・表現力の向上をめざす授業改善に取り組んでいる：教員70%以上】

c 家庭学習の実態を把握し、面談や適切な課題を通して自学自習の習慣・態度を養う。
目標【平日の家庭学習を2.5時間以上している：生徒50%以上】

具体的取組

a 集会やクラス等の場で継続的に人権尊重を啓発し、SNS等による過剰な連絡を生徒同士が自粛し合う風潮を、生徒会や保護者と連携協力して作っていく。
目標【夜9時以降、SNS等で友人に連絡をしていない：生徒60%以上】

b 挨拶推奨、校則遵守・マナー向上指導の頻度を増やし、生徒がその大切さを理解して挨拶や正しい服装等ができるよう指導する。
目標【行動や服装・頭髪は武生高校生としてふさわしいものに生徒ができた：95%以上】

c 一定時間内で部活動に集中し、学習と両立できるよう、担任や顧問が生徒の実状をきま細かくつかみ、サポートする。
目標【両立が自分なりにできた：生徒75%以上】

具体的取組

a 個人面接やロングホームを通して、生徒の自己意識を育成し、早期の進路目標設定を図る。きめ細かな初期指導や個々の進路希望に応じた課外や講座を実施し、国公立大学に合格する確かな学力を培う。
目標【国公立大学合格者数：現役200人以上】

b 進路講演会や大学訪問等を通して、本人および保護者の進路意識を啓発し、高い目標を持って学び続ける集団作りを行う。特別講座や個別指導を通して、難関大を突破する高い学力を培う。
目標【難関10大学+医学科合格者数：40人以上】

具体的取組

a 身体計測の統計データの公表や各種検診の事後指導の徹底、丁寧なカウンセリング活動、健康に関する情報の適切な発信を通じて、生徒の心身の健康管理意識の高揚を図る。
目標【自己の健康管理に対する意識が高まったと感じている：生徒80%以上】

b 生徒にとって一番身近な美化活動である毎日の清掃活動とゴミの分別の徹底を図り、生徒の主体的な活動が快適な学校環境を実現することを意識させる。
目標【学校環境の美化に主体的に取り組むことができた：生徒80%以上】

具体的取組

a PTA各会議・各部会の活動をとおりて全保護者にPTA活動方針の理解と協力を得る。
目標【PTA活動を理解し充実している：保護者75%以上】

b 防災訓練実施に際し、生徒の防災意識が高められるような教材等を準備する。
目標【防災訓練を通して防災に対する意識を深める：生徒75%以上】

c 生徒が充実した学校生活を過ごせるよう奨学金、購買等の充実を図る。
目標【学校生活のサポート体制が充実している：生徒75%以上】

具体的取組

a 本の紹介・図書館の展示・教養講座・読書タイム等の取り組みを通して、読書への啓発活動を行い、生徒の読書への興味、関心を深める。
目標【年間、図書館の生徒への貸出し：2000冊以上】

b オープンスクール、学校説明会等の実施やわかりやすいパンフレットやホームページの作成により、学校教育活動の広報の充実を図る。
目標【オープンスクールで、学校の内容を理解できた：中学生90%以上】

具体的取組

a SSH事業 本校SSH事業の成果を、地域の小中学校、高等学校、大学等へ発信することにより、理数教育の拠点としての役割を果たす。
目標【学会を含む学校外部での発表10本以上】

b 探究学習に取り組むことで生徒の科学的思考、創造力、論理的な思考を育み、自分の考えを発信する力を育成する。
目標【探究学習に積極的に取り組んだ：生徒75%以上】

具体的取組

a 担任等による面接指導、学習の個別指導および部活動指導などを通じて、生徒と心を通じ合える関係を築く。
目標【週2回以上は個別に生徒と関わることができた：教員70%以上】

b 振り返りチェック票の活用や保護者・外部機関との連携を図り、いじめの早期発見・早期解決につとめる。
目標【振り返りチェック票等から得られた情報を確認し、必要対応を行う：教員100%】